



16回知多・名古屋女性フォーラムが開催され208名の方にご参加いただきました。

地域から発信する男女共同参画社会の推進パートII

— 21世紀を輝いて生きるための男女共同参画社会 —

10月19日(土) 午後1時～ 美浜町総合体育館

発表

- Aブロック 「目で見るなごや条例」 (名古屋)
- Bブロック 「子育てとジェンダー」 (南知多町・美浜町・武豊町)
- Cブロック 「日常の目からウロコ」 (東海市・知多市・常滑市)
- Dブロック 「なぜ混合名簿が必要なの?」 (半田市・大府市・阿久比町・東浦町)

講演 「わたしたちの力で変えよう！くらし・社会」 講師 中島美幸 氏



「第十六回 知多・名古屋女性フォーラム」を終えて

会長 斎藤悦子

今年四月一日、愛知県では「男女共同参画推進条例」が、また名古屋市では「男女平等参画推進なごや条例」が施行されました。

それに伴い、みちの会では名古屋・知多五市五町の地域の実情に則した条例のあり方について学習を重ね、地域・家庭学校での意識調査やアンケートを実施し、それを各ブロックが資料としてまとめ発表する事が出来ました。

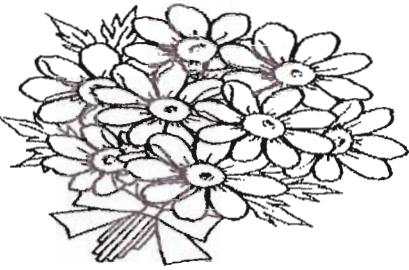
発表の内容は四ブロックがいずれも条例に関わる身近な話題を取り上げ、寸劇やプレゼンテーションでの発表は入場者も参加できる楽しくすばらしいものでした。

中島美幸先生の「わたしたちの力で変えよう！くらし・社会」と題しての講演は、会員に勇気と希望を与えてくださる力強い内容でした。

二十一世紀を輝いて生きる為にも男女共同参画社会を目指るにあたり美浜町関係各位の皆様のご協力とご支援のたまものと心より御礼申し上げます。会員の皆様には、会員が一丸となり、感動を共有できました事を心より感謝申し上げます。

フォーラム

各ブロックがどのようにしてフォーラムにのぞんだのか、終わった後に感じた事は?。4人に感想をお寄せ頂きました。



「子育てとジェンダー」
Bブロック 中川はる

Bブロックでは「子育てとジェンダー」をテーマにコント(座談会形式でテーマを絞り話し合ったもの)を行いました。

コント発表では、舅「女の子かあ、まあ男の子が生まれるまで」という長男=跡取りという図式は健在です。

②「男の子は泣いてはだめでしょ」男性はこのように育てられて大人になりました。そのため妻や子どもの前で辛くともひたすら我慢するのです。今や自殺者の多くは中高年の男性が占めているという現実。他にもありますが、12名の出演者は楽しく演技を行い「よくぞここまで」と素晴らしいもので感動しました。以上、美浜町、武豊町、南知多町の座談会で特に多かった話題をコントにしてみました。

こうして見ますと世の中の通念として当たりまえと思われてきたことが、実はとてもおかしなことなのだと、感じてもらえることと思います。男女の差別は、まず私たちの嫁、舅、姑の考え方にあるのです。この垣根を越え、知恵と意識改革で、心豊かな夢のある人生を模索することではないでしょうか。男女が互いにその権限を尊重して責任を分ちあい、性別にかかわりなくみんなの個性と能力を十分に發揮することが大切だと思います。

そして男女共同参画に向けて私達の出来ることは、ひとり一人がジェンダーに縛られている自分自身に気づくこと。それが第一歩です。



お知らせ

下記の資料は 各市町の幹事が持っています。

- 1.フォーラムをテープで聞けます(カセットテープ2本)
- 2.中島先生の講演会が読めます(A4 22ページ)
- 3.当日のアンケートの結果(集計資料 A4 7ページ)

「主人にかわる言葉は？」



Cブロック 古田佳津子

Cブロックの研究発表のタイトル「日常の目からウロコ」は、今年度みちの会の第一回学習会の弁護士・池田 桂子氏によります「愛知県男女共同参画推進条例制定記念講演」中のことばから決まりました。発表にはでなかつたのですが日進市の『につしんの表現指針—「ことば」と「イラスト」当たり前と思っていた表現がちょっとおかしい！』のパンフレットの検討、文部科学省のポスター・教育現場で使用されている副読本のジェンダーチェック、などもしました。

発表には一部の者しか表にはでませんでしたが、発表にいたるまでには、全員の協力の下に「日常の目からウロコ」探しや、アンケート調査、回収、集計、内容の検討をし、Cブロックでの集まりの他、各市の集まりと、何度も話し合いをもちました。

反省として、「全員が舞台に上がつて発表という方法もよかったです」 という意見もありましたが、「今回のほうがすっきりしていて良かった」「アンケート形式や、クイズ形式で会場の皆さんのが参加できてよかったです」などおおむね良い評価でした。「御主人」だけでなく「奥様」についても調べてほしいという声もありました。「御主人」に変わることばをみちの会から新造語として提言できればよかったのですが力不足でできませんでした。



「3年目の混合名簿」

Dブロック 戸田幸子



私たちは、小・中学校の混合名簿に取り込んで3年になります。1年目は行政や教育関係者及び住民の方にインタビューをしました。2年目は、教育長や校長に「ジェンダーフリー」のビデオと一緒に見た後で話し合いをしました。

3年目は小・中学校に混合名簿がどの程度導入されているかを調査しました。

毎年、混合名簿を採用するが学校が少しづつ増えてきました。採用されている学校は、先生のジェンダーフリー研修が行われています。今回「なぜ混合名簿が必要なの！」をテーマに、フォーラムの発表を行いました。3年間勉強して感じた事は、21世紀は、家庭・地域・学校・職場など社会のあらゆる分野において意識改革が必要とされている事。子ども時代から女も男も一人の人間として尊重され、平等意識を高めていくためにもジェンダーフリーの必要性を発信して行きたいと思います。ブロック会を何回も持った事によって心もうちとけあい、すばらしい発表が出来たと思っています。

どんな事にもめげない名古屋ブロックのメンバーも、切り口探しが大変でした。歌留多・諺・短歌・紙芝居からコンピューターを使ったパワーポイントとなりました。

リハーサルを繰り返すごとに、内容の添削、配役の変更と実際に苦しく楽しいつどいでした。

「男女平等参画推進なごや条例」はフォーラムの講師中島先生からおほめの言葉をいただけるほどマスター(学習)しました。女性のために生まれた条例は、女性自身の活用が使命だと思います。例年になく地味な発表でしたが、リハーサルを兼ねた「美浜簡保の宿」での前泊は、楽しかったです。



中島先生が紹介された

茨城のり子さんの詩

2編を紹介します

「自分の感受性くらい」

ぱさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて
気難かしくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか
苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし
初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもがひよわな志にすぎなかつた
駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄
自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

1977年

「女の子のマーチ」

男の子をいじめるのは好き
男の子をキイキイいわせるのは大好き
今日も学校で二郎の頭を殴ってやった
二郎はキャンといって尻尾をまいて逃げてった
二郎の頭は石頭 べんとう箱がへっこんだ
パパはいう お医者のパパはいう
女の子は暴れちゃいけない
からだの中に大事な部屋があるんだから
静かにしておいで やさしくしておいで
そんな部屋どこにあるの
今夜探検してみよう
おばあちゃんは怒る 梅干ばあちゃん
魚をきれいに食べない子は追い出されます
お嫁に行っても三日ともたず返されます
頭と尻尾だけ残しあとはきれいに食べなさい
お嫁になんか行かないから
魚の骸骨みたくない
パン屋のおじさんが叫んでた
強くなつた女と靴下 女と靴下ア
パンかかえ奥さんたちが笑つてた
あつたりまえ それにはその理由があるのよ
あたしも強くなろうっと！
あしたはどの子を泣かせてやろうか

1965年

各市町の情報

会員が主体的に活動する事業及び男女共同参画社会を推進する事業を各市町で聞いて見ました。

武豊町

消費生活教室

2002年2月3日(火) 10時

場所：武豊町中央公民館

「食品の安全性」

講師：松田 幹



阿久比町

人権教育推進事業講演会

2002年12月8日(日) 13時30分～

場所：阿久比町中央公民館

「身近な暮らしの中で考える男女の平等」

講師：兼松洋子

名古屋市

参加団体募集

男女共同参画推進センター(仮称)

開設に向けて

平成15年に総合活動拠点を設置予定

オープン記念事業参加団体募集

資格：主に市内で活動の男女平等参画に

理解がある等

締め切り：12月20日

問合せ：052-972-2235 (同室)



美浜町

家庭教育講演会

2003年2月1日(土) 10時～

場所：美浜町総合公園

体育館 サブアリーナ

「子どもの虐待の現状とその対応」

講師：岩城正光

知多市

知多女性たちの会講演会

2003年2月1日(土) 13時30分～

場所：知多市ふれあいプラザ ホール

「自分探しの本棚」

講師：木下明美

入場料：500円

問合せ：竹内 0562-55-3535

半田市

①2003年女と男のつどい

2003年2月2日(日) 13時～

場所：雁宿ホール

「人は人に磨かれる」

講師：海月ルイ

映画：「ウォーターポーイ」

入場料：シングル券 300円 他

問合せ：半田市青年の家 0569-22-1184

②レディース半田研修会

2003年2月22日(土) 13時30分～

場所：雁宿ホール 視聴覚室

「向老学」 講師：高橋ますみ

問合せ：浦山 0562-21-0671

東浦町

東浦町男女共同参画講演会

「ジェンダーって何？」

2003年2月8日(土) 10時～

場所：文化センター 大ホール

「男だって日傘がほしい」

講師：奥山和弘

問合せ：センター 0562-83-9567

常滑市

第12回とこなめ女と男のつどい

2003年2月15日(土) 13時～

場所：常滑市市民文化会館ホール

講演：大谷貴子

映画：「友情」 入場料：300円

南知多町

南知多町女性のつどい

2003年2月8日(土) 13時30分～

場所：南知多町総合体育館

サブアリーナ

「野菜と健康」

講師：石黒幸雄



大府市

① あなたとわたしのつどい

2003年2月15日(土) 10時～

場所：勤労文化会館

「おばあさんは山へ芝刈りに」

講師：奥山和弘

映画：「グットナイトムーン」

参加費：450円(昼食代含)

問合せ：山本 0562-48-2394

② 出会い・ふれあいトーク

2003年2月22日(土) 10時～

場所：石が瀬会館

講師：PM 隠岐美智子

AM 戒能民江

参加費：500円(昼食代含)

9月21日は幹事会をかねた下見をしました

東海市

①”私達が考える条例作りに着手”

東海市はH15年4月から男女共同参画推進条例(仮称)作成を始めます。それに先駆けて東海市女性団体連絡会(ネットワーク東海)が条例(試案)作り研究会を発足しました。完成後行政に提言します。

第2回研究会は20002年12月13日(金)

13時半～ 場所：しあわせ村(有料)

事務局：0562-34-6732

②子育てネットワーク

「はっぴーねっと」発足

(20002年11月)

「あつたらいいね」をもとに呼びかけ子育て中の親だ

けでなく、これから親になる人、子育て支援のボランティア団体、個人等。ニュースレター、交流会・勉強会をもち子育て、自分育ちをしていけたらと・・・。

問合せ：東海市社会教育課



2005年離陸



全体交流会 中部国際空港見学・常滑

東海市 小林治代

11月13日水曜日、お天気に恵まれ、中部国際空港見学及び常滑研修に行きました。27名の参加がありました。午前11時から空港建設事務所「セントレア館」のホールでスクリーンを使って中部国際空港の概要の説明を聞いたあと空港工事についてのビデオを見ました。

空港島建設のため2000年8月1日に工事が始まり2005年の開港を目指しています。さらに用地造成(護岸工事・埋め立て工事)とターミナルビルなどの施設建設を並行して行うなど工事期間を短くする工夫がなされているようです。また、旅客ターミナルのイメージ映像を見ながら空港作りの5つのキーワード①利便性の追求 ②経済性の追求 ③環境への配慮 ④魅力あるサービスの提供 ⑤豊かな地域社会づくりへの貢献 等の説明がありました。12時には常滑の公民館で昼食をしながら歓談。

午後1時からは常滑港より観察クルーズ船で空港島を一周し、船から工事の様子を見る事が出来ました。常滑の方の配慮で定休日にもかかわらず、共栄窯や陶芸の工房等見学させていただき、ありがとうございました。



日本女性会議 2002 あおもり

テーマ 「私たちは私たちを大切に思うと同じ重さであなたを大切に思う」

アピール

私たちは、「女らしさ」「男らしさ」と言った「らしさ」に縛られず、誰をも「女だから」「男だから」で判断しない。

私たちはあらゆる暴力をもみとめず、誰をも暴力で踏みにじらない。

私たちは誰からも、自立と平等を奪われず、誰かの自立を妨げ、差別する事をしない。

私たちは、すべての人が主体的に生きられる社会を目指し、性別を超え、世代を超え地域を超え、誰もが同じ重さの社会を構築する。

この大会の成果に決意を込めて「日本女性会議 2002 あおもりアピール」とします。

「青森日本女性会議に参加して」

名古屋市 青井久子

平成 14 年 10 月 4 ~ 5 日、ねぶたで知られる青森で 2002 日本女性会議が開かれました。10 分科会と 3 ワークショップ。その内第 2 ワークショップ「学校教育」、に参加しました。最近ことに興味・関心の深いテーマです。青森駅から市立大 2 階交流ホールへシャトルバスで行きました。字のごとく深い森の中に校舎はありました。

敷地内の一画に展示場があり、この日は芸大の先生による「あお」を基調とした作品 30 点あまり、会場はありきたりの物ではなく湾曲になっていて外観は階段式観覧席、円形池の中ほどに観覧用歩道、その先は総ガラス張り喫茶、池を囲んで森があり、作品鑑賞には落ち着いた雰囲気があった。

学校教育のワークショップは、フォーラムシアターで始められた。青森市の高校 2 年生を対象による意識調査をもとにミニ劇はつくられていた。1 回目は調査をまとめたもの、2 回目はそれに対して意見、感じた事を述べ、3 回目は己から劇中に入りストーリーを変えセリフもつくる。この方法は着実に浸透していくと感じた。教育界における男女共同参画は遅れていると言われる現実、如何なる手立てでその教育が行われているかも興味のあるところ。

まだ男社会がまかり通っている地方では、人権をどう受け止めている等。家庭で再生産しない、人としての責任や責務を果たすしつけに努力し自ら力をつけるを目指している者には参考になる調査でした。

21 世紀を担う将来の人となる人々が己の性にとらわれて能力や個性を限定している教育を受けているとしたら・・。学校教育の重大性を痛感しました。

かつて福沢諭吉は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言った。自由記述に、ある女の子は(男性優位、女性軽視を受け入れている生徒がいる事に、憤り傷ついている)『「男女は平等だ」と言っているのは男が多いと思う。男は女より待遇がいいんだから平等なんてわからないのにどうして、そんな事がいえるのかと思う。こんな事は被害者になって始めてわかる事。男も同じ様な思いをしてみればもっともっと男女は平等になるのになあ』と。気づいている事に希望が持てた。

日本女性会議 2002 あおもり



「日本女性会議 2002 あおもり」 常滑 伊藤 美智子

「せっかくだから…」誰から言い出したか、10月4・5日と『日本女性会議 2002 あおもり』行きに、常滑4人（後から一人参加）は、3日から出発した。着いて早々、三内丸山遺跡を見学し、十和田湖、奥入瀬など青森のおいしいところを満喫しホテルに入った訳だが三内丸山遺跡のあの大きさの驚きと感激は今も記憶に新しい。

さて、日本女性会議だが第1日目は分科会。2日目がセレモニー、全体会、記念講演であった。一日目参加のメディアの分科会では3人（浜野佐知・楳坪夢鶴子・和田淳子）の女性監督が映画製作への思いや悩みを語られ、3人共が「男性社会の中で、女性として創りたいものがあっても、お金が無くて作れない。」と言われた。そして男性監督作品には、本人も気づかない差別があることなど、「映画を見る目を養ってほしい。」「女性映画祭が必要」など熱い胸の内を語られた。

「百合祭」で知られる浜野監督のピンク映画は、女性たちの手で映画会が開催されているとの由。女性の視点からのメッセージに興味を持った。2日目の全体会は2会場で私の参加した会場では「男女共同参画社会基本法・ジェンダーからの解放、社会システムの再構築を」のタイトルで東京大学社会科学研究所教授・大沢真理氏の講演。

ジェンダーの本質が理解できれば、どこかの街で問題になっているすったもんだの悲喜劇も起こらないだろうに。2003年は琵琶湖で開催される。

みちの会から

みちの会の総会

4月中旬予定です。

詳しい事は1月12日にお知らせできると思います。

幹事会・全体会……

- | | | |
|--------|----------|-------|
| 6月24日 | 第3回 | 全体学習会 |
| 11月13日 | 第4回 | 全体会 |
| 10月2日 | リハーサル・下見 | |
| 10月19日 | フォーラム | |
| 6月24日 | 第3回 | 幹事会 |
| 7月22日 | 第4回 | 幹事会 |
| 8月30日 | 第5回 | 幹事会 |
| 9月 9日 | 第6回 | 幹事会 |
| 12月 2日 | 第7回 | 幹事会 |

全体会&新年親睦会

2003年 1月12日 (日)

11:00~

半田市堀崎町 魚福

0569-21-0779

会費：3500円

当日徴収 お釣りのないように

担当：Dブロック幹事 責任者：間瀬良子

出欠：12月20までに

0569-28-1392 間瀬へ

来て！来て！楽しく親睦会

市・町の幹事は取りまとめをお願いします。



「南京虐殺記念館」を訪ねて

「戦争は人間を狂氣にする」 名古屋市 永山 峰子

私が活動している YWCA は、中国国内の 10 都市にも仲間がいます。今回招待を受け、10月19日から26日にかけて、その中から上海、杭州、南京、北京の4都市の YWCA を訪問し、交流を持ってきました。旅のスケジュールのなかに、南京虐殺記念館見学と証言を聞く時を持ちましたので、その点について、お話をしたいと思います。

10月22日午後、重い気持ちを抱えて記念館前に立ちました。先ず代表者が花輪を献げ、参加者一人ひとりが黙祷をしました。敷地内に敷かれている無数の白い小石は、日本軍の殺りくの犠牲となった30万人の遺骨を表しており、庭を囲むレリーフは苦しみにゆがみ悲しみに打ちひしがれた人々の顔が延々と続いていました。館内には、掘り起こされた無数の人骨、人骨に刺さっていた弾丸や釘が展示されています。科学的な検証の結果、幼い子どもから老人まで無差別に殺りくが行われたことがわかります。当時の首都南京を目がけて狂ったように爆弾をふらせ、虐殺、放火、強姦、略奪を繰り返す。狂気の沙汰としか言いようのない事実を展示の写真は突きつけています。「百人斬り記録競争」に興じる日本人将校を大きな写真で報じた東京日日新聞の記事には唖然とし、言葉もありません。

その後、二人の女性の証言を聞きました。その1人で、当時8歳だった夏さんは9人家族の内7人を殺されました。13歳と15歳の二人の姉はテーブルの上で強姦され、その拳銃に殺されるのを見たそうです。自分も3か所刺されたが、助かったとのことでした。溢れる涙をぬぐいながら証言下さった老人たちに、私はただ深くうなだれしかありませんでした。しかし、何とか立ちあがり、心からのお詫びを申し上げ、お別れをしました。戦争は人間を簡単に狂気に変えます。

しかし、一旦犯した過ちは歴史の事実として認めなければ、平和な未来はあり得ないと実感した南京訪問でした。

編集後記 寒暖の差が大きかったようで紅葉が鮮やかです。美浜体育館の窓から見た山は、みかん色に色づいているのでしょうか。ちょっと早いですが、良いお年を。1月に半田でお会いましょう。会報に対するご意見をお願いします。

竹内 T&F0562-55-3535 E: riko3535@ma.medias.ne.jp

発行：地域開発みちの会 発行年月日：平成14年12月2日

発行責任者：会長 斎藤悦子

編集：みちの会だより編集委員(権田久佐代・竹内より子・古田佳津子)

問合せ：斎藤 悅子 知多郡美浜町上野間越智34 電話&FAX0569-87-5630